

【9月5日】藤井会長「音楽立国ラトビア讃歌」8

(2011/09/05 月曜日 20:51:05 JST) - 投稿者 webmaster - 最終更新日 (2011/09/05 月曜日 21:00:37 JST)

?? 音楽立国ラトビア讃歌(8)????????????? 日本ラトビア音楽協会会長 藤井 威? ラトビア民族意識の高揚に多大の貢献をし、現代のラトビア人の深い尊敬を集めるクリシュヤニス・バーロンスのダイナ蒐集(22万曲)の事業は、その後も引き継がれます。ダイナとは、ラトビアの人々の間で古くから歌い継がれてきた民謡だけではなく、過去も今も多く作詞作曲家によって作り続けられており、わが国に当てはめれば、各地の民謡と現代の歌謡曲の全体を指す言葉に当たります。バーロンスのダイナ・スカピスは現在ラトビア民謡アルヒーブに保存されていますが、私が帰国時点での曲数は、120万曲以上ということでした。ラトビアに住むラトビア民族は、130万人足らずという数字と比較してください。ラトビアの人々がダイナに対して持つ熱い気持ちが伺われる数字と言えましょう。? 現在に作曲された有名なダイナの一つ「マーラが与えた人生」の歌詞を見て下さい。?? マーラが与えた人生子どものころ泣かされると母に寄り添って なくさしてもらったそんなとき、母は笑みを浮かべてささやいた「マーラは娘に生を与えたけど、幸せはあげ忘れた」? 時が経って、もう母はいないいまは一人で生きなくてはならない母を思い出して寂しさに駆られると同じことを一人つぶやく私がいる 「マーラは娘に生を与えたけど、幸せはあげ忘れた」? そんなことはすっかり忘れていたけどある日突然驚いた今度は私の娘が 笑みを浮かべて口ずさんでいる「マーラは娘に生を与えたけど 幸せはあげ忘れた」? この曲は、ラトビア独立回復後の組間で文化大臣を務めた音楽家、ライモンズ・パウリスの作曲であり、大ヒット曲となりました。マーラとは、キリスト教化以前にラトビアで信仰された地母神の名称です。貧しい農家で懸命に生きる生命力に溢れる女性三代の生活ぶりが生き生きと表現されています。特に3番の歌詞に注目して下さい。三代目の幼い娘は、「笑みを浮かべて」この曲を口ずさむこの1行が、この曲に深い命を与えています。? この曲は後にロシアに輸入され、メロディはそのままにして、歌詞を完全に入れ替えられて「百万本のばら」となり、さらに日本で加藤登紀子さんがこれを歌って大ヒットしました。「百万本のばら」はロシアの片田舎に住む一人の詩人が、たまたま巡業にきた有名女優に恋心を抱き、毎日のようにばらの花を贈ったけれども、女優に受け入れてもらえないという意味の歌ですね。ラトビアの原曲とロシアの改作、どうでしょう。私は、原曲の方がはるかに優れていると思います。? ラトビアの人々の音楽への傾倒は、もちろん、ダイナにとどまらず、オペラやシンフォニー、さらに西洋音楽全般に及び、優れた作曲家や演奏家を輩出しています。海両 風硫山放綵爐旅發氣運 そ2山擲 任晴召覆里任后2鑪 鈴椒瀝肇局 山擲 風量樵阿法嶺山據厨 評評譚討い詭 海 縞 蠅い燭世韻襪準厨い評后 海 龍 風運 山擇鮪未犬晋鯨 砲箬匹評籜此 顯集鯨 竿漫 氣籜砲運 从兪 顯汁竿未砲鋸鯨鯨 梁夕覆藩 ゴ椒犬料 覆冒肝呂舫甲踏靴討い評后 瀝肇局 剖 縮 鮎 張椒瀝鷓臚 燭舛像犬蠅紡燭 諒 棒 鶻柑臚辰い燭世 燭あ 修 厨い評后 ?